

重点14 学校環境の改善

3 バリアフリー化

ねらい

障害者、健常者がともに円滑な学校生活を送ることができるように、また児童・生徒だけでなく、地域に開かれた学校づくりや、学校が非常時の拠点や避難所、選挙投票所など多用されるため、市民の誰もが円滑に活用できるよう学校施設環境の改善整備を進めていきます。

現 状

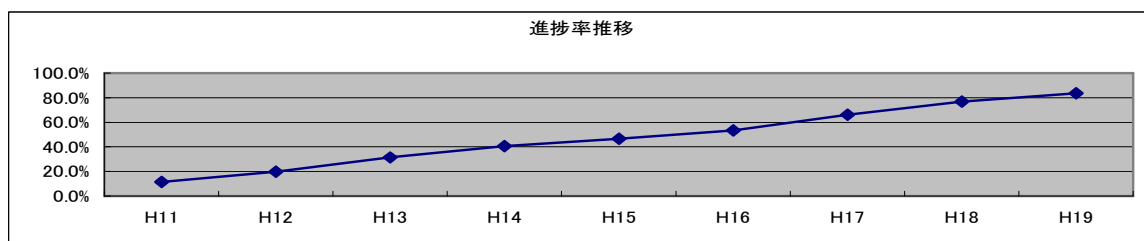
- 障害者対応の水平方向の移動対策として、身障者対応トイレの設置、階段・廊下の手摺の設置、出入口等の段差解消のためのスロープの設置等の整備工事を、年次的に継続して実施してきています。

バリアフリー化施設整備工事状況

(校数)

平成 年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
小学校	3	4	6	5	3	4	6	5	3	2
中学校	2	3	4	3	2	2	5	4	3	1
計	5	7	10	8	5	6	11	9	6	3
累計	10	17	27	35	40	46	57	66	72	75
進捗率	12%	20%	31%	41%	47%	53%	66%	77%	84%	87%

※進捗率は必要延べ数に対する各年度末累計数の割合。H20は見込み数。



課 題 (今後の方向)

- 現在は、水平方向の移動対策として整備しており、今後も引き続き早期に整備完了するよう努めていきます。

また、垂直方向の移動対策としては、補完的に階段昇降機を導入しましたが、移動の迅速さからみてもエレベータの設置が望まれます。財政状況もあり、エレベータ設置は水平移動対策後に検討することとしていますが、校舎改築改修の機会も捉えながら設置してきており、今後も設置実現に努めていきます。